

臨床高気圧酸素治療装置操作技師 認定講習会のご案内

開催日：2009年1月18日(日)9:50～17:00

場 所：品川イーストワンタワー 中会議室 (JR品川駅港南口徒歩3分, 詳細裏面)

定 員：50名(先着順)

費 用：20,000円〔受講料12,000円・試験申請料5,000円・認定料3,000円〕

講習会内容：裏面参照ください

本学会「臨床高気圧酸素治療装置操作技師」(以下,認定技師)資格の概要と講習会について

認定技師としての認定を得るためには,所定の認定コース修了証を取得し,技師認定委員会の実施する認定試験に合格しなければなりません。なお,認定技師の試験を受けようとする者は,認定コース修了証を添えて所定の申請書類を技師認定委員会に提出しなければなりません。各種特例期間中ということも考慮し,今回はコース修了と同時に筆記試験を行います。臨床高気圧酸素治療装置操作技師証の有効期間は,その交付日より5年となっています。

・特例対象者について

なお,日本高気圧環境・潜水医学会で認証された臨床高気圧酸素治療技師については,本学会の認定コースを修了した者とみなされ,申請料(5000円)入金後,テキストと小論文の問題(2～3問提示,1問選択。800～1200字でまとめる)を送付します。届いた論文を審査し合格者に認定証が発行されます(発行費用3000円)。特例対象者の申し込みおよび申請受付期間等に関するお問い合わせは事務局まで。

認定講習会の受講資格と申込方法

受講資格者：

- 1.医療機関の常勤者で,2年以上の臨床経験を有する臨床工学技士または看護師であって,業務として高気圧酸素治療に従事している者,あるいは高気圧酸素治療の臨床経験を有する者
- 2.医療機関の常勤者で,高気圧酸素治療の臨床経験を有しない臨床工学技士または看護師にあっては,3年以上の臨床経験を有する者

提出書類：

以下に示す申請書類の正本1通及び副本1通を申込み費用とともに下記事務所に提出ください。

- 1.認定技師申請書, 2.履歴書, 3.医療職としての資格免許証(写)

上記書類のほか,申込費用の振込が確認できるもののコピーを同封ください。

申込受付：2008年12月10日～2009年1月8日 書類到着と振込確認後受講証をお届け致します。

申込費用振込先：三菱東京UFJ銀行 長原支店 普通 1052579 口座名/日本臨床高気圧酸素・潜水医学会

臨床高気圧酸素治療装置操作技師制度規則の詳細はホームページ(<http://square.umin.ac.jp/jachod/>)をご覧ください

一般社団法人日本臨床高気圧酸素・潜水医学会

臨床高気圧酸素治療装置操作技師 認定講習会

開催日：2009年1月18日(日)9:50～17:00
定員：50名

会場：品川イーストワンタワー 中会議室

東京都港区港南2-16-1 TEL 03-6718-9117 (JR品川駅港南口徒歩3分)

会場へのアクセスについての詳細は<http://www.e-onetower.com/access.html>で確認ください

タイムスケジュールおよび講師 (講師は変更されることがあります)

受付開始 9:20

09:50～10:00 挨拶およびガイダンス

10:00～11:00 基礎編 (高気圧環境の物理・生理学) 60分

講師：四ノ宮成祥 (防衛医科大学校)・清水 強 (清水宇宙生理学研究所)

10分休憩

11:10～11:40 高気圧酸素治療の安全管理 30分

講師：古山信明 (千葉・柏たなか病院)

-

11:40～12:40 ランチョンセミナー「BLSとAED (一次救命処置と自動体外式除細動器)」

講師：浅井康文 (札幌医科大学附属病院高度救命救急センター)

協賛：(株)フィリップス、フクダ電子(株)

20分休憩

13:00～15:00 臨床編 / 高気圧酸素治療の適応疾患

13:00～13:25 脳疾患、脊髄・脊椎疾患 25分

講師：池田尚人 (昭和大学横浜市北部病院)

13:25～13:55 外傷・中毒 30分

講師：大庭正敏 (大崎市民病院)・中川原譲二 (中村記念病院)

5分休憩

14:00～14:30 減圧症、難治性創傷、末梢神経・血管疾患 30分

講師：小濱正博 (北部地区医師会病院)

5分休憩

14:35～15:00 消化器・泌尿器疾患 25分

講師：堂籠 博 (信州大学)

10分 (試験準備等)

15:10～15:55 試験 45分

15:55～16:10 高気圧酸素療法の収支 (=採点時間) 15分

講師：瀧 健治 (佐賀大学)・小濱正博 (北部地区医師会病院)

16:15～ 修了証・認定証授与 順次解散

試験は25問程度、不合格者には誤答箇所についての小論文の提出(郵送)を求めることがあります。